



## 使い方「無限大」

Anything can be installed



当社はその開発経緯から、ロボットメーカーと思われることが多いですが、実は「ソフトウェア開発」を軸にした移動ロボットのベースユニットメーカーです。

私たちが目指す未来は、当社が開発した汎用移動ロボットが世界の様々な業界の生産性を向上させること、さらには、既存ロボットに私たちが開発した新たなソフトウェアを追加して価値あるソリューションを生み出すことで、社会の隅々まで笑顔を行きわたらせることです。そのために、私たちは、使い方「無限大」のシステム構築を提案させていただきます。

### - 簡単 -

「簡単導入」「簡単操作」「簡単改善」

当社の製品は、簡単なシステム、簡単な見た目、簡単な構造だからこそ、導入前の心理的ハードルが下がり、導入後も現場に合った改善ができることが魅力である。

また、国内外で活用されることを想定し、性別や年齢、人種や職種、ロボット操作経験の有無が導入前後の妨げにならないように「簡単」を追求していきたい。

### - 協働 -

「人の隣で動く協働ロボット」

当社の製品は全て、操作者の隣で動くことを想定している。

操作が簡単のため、操作者は、現場とロボットを理解し、その上でより良い運用方法を模索し、改善策を講じることができるのである。

ユーザーとロボットが「協働」し合うことで、これまでとは全く新しいイノベーションが様々な業界で起こることを期待したい。

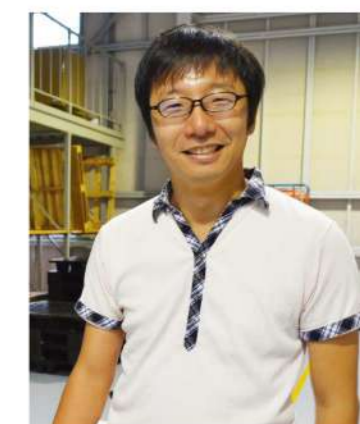
### 未来に向けた 代表者からのメッセージ

創業から10年が経ち、サウザーという当社を代表するロボットを通して、当社の認知度が国内外で徐々に広まっていることに対して、大変嬉しく思っています。

パートナー事業者との様々な連携を通して、各国での人脈や経験が蓄積してきており、私たちが目指す未来に一歩ずつ近づいていると実感しています。

これからの10年は、自社開発のロボットだけでなく、既存のロボットや機械に対するシステム開発に挑戦し、お客様のニーズ、そして、時代の潮流に乗った全く新しいソリューションを世界中で生み出していきたいと考えています。

そのためには、社内のチームワークが何より重要です。常に長期的な視点を持ち、社会の変化に合わせた柔軟な対応と想像力を組み合わせながら、今後も果敢に事業に取り組んで参ります。



株式会社Doog (Doog Inc.)

代表取締役社長

大島章

Akira Oshima